

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化が進み経管栄養や痰の吸引が必要な方が入居されている。 ホームの看護師一人では対応しきれず外部の医療機関にお願いしている。 緊急時の対応が今後の課題である。	重度化や終末期に向けた指針を職員が理解し、ホームで許される範囲の介護努力を行なう。	重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から本人・家族等と話し合う。 緊急時の対応をマニュアル化し実践に活かされるようにする。	6ヶ月
2	36	日々の忙しさや親しい関係の馴れ合いからふっと忘れがちになってしまう時がある。	一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉がけや対応に努める。	毎月のユニット会議でホームの理念に立ち戻り、現場での対応や言葉がけを振り返り改善していく。	6ヶ月
3	4	会議の席で活発な意見を頂くことが難しい。	報告事項や話し合いのテーマを考え直したりして工夫する。	他の事業所の会議に出席させて頂く。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。